



2020年4月24日

各位

会社名 日立造船株式会社
代表者名 取締役社長兼COO 三野 禎男
(コード番号 7004 東証第1部)
問合せ先 経営企画部長 宮崎 寛
TEL 06-6569-0005

(開示事項の経過)「特別損失の計上に関するお知らせ」および業績予想の修正について

2020年3月30日付けの当社適時開示「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載しておりました特別損失の内容につきまして、開示すべき金額を修正いたしました。また、当該特別損失その他の要因により、2020年2月3日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の内容

2020年3月30日付けの当社適時開示「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載しておりました特別損失の内容につきまして、当社が保有するジャパン マリンユナイテッド(株)の株式について、同社から入手した財務情報等に基づき同社株式の時価を見直した結果、以下下線部のとおり修正いたします。

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の内容

当社が保有する投資有価証券のうち、ジャパン マリンユナイテッド(株)の株式について、2020年3月期第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）において65億円の減損処理を実施しました。しかしながら、2020年3月期第3四半期連結会計期間末以後も同社の収益悪化が継続し、2020年3月期事業年度末および連結会計年度末において、同社株式の帳簿価額に比べて時価がさらに著しく下落する見込みとなったため、追加で33億円の減損処理を実施することとなりました。この結果、当社2020年3月期事業年度および同連結会計年度において、合計98億円の投資有価証券評価損を、特別損失として計上することとなりました。

2. 今後の見通し

上記特別損失の計上はあるものの、機械部門およびインフラ部門の売上高が増加したこと、各部門で固定費削減が実現したこと、および環境・プラント部門の大口工事のコストダウンが実現したこと等により、2020年3月期通期の連結業績につきましては、現在集計中ではありますが、業績予想を次のとおり修正いたします。

なお、これに伴う期末配当予想の変更はありません。

2020年3月期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	395,000	12,000	8,000	1,000	5.93
今回修正予想（B）	400,000	13,500	9,000	2,000	11.87
増減額（B－A）	5,000	1,500	1,000	1,000	
増減率（％）	1.3	12.5	12.5	100.0	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	378,140	7,358	6,720	5,445	32.31

※上記の予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上